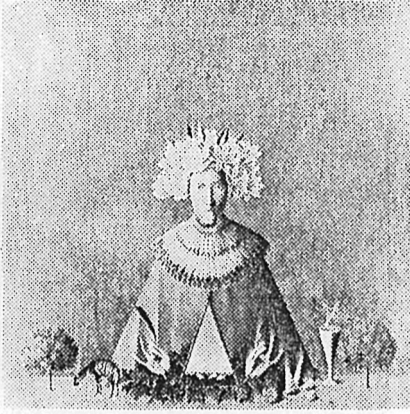


創造の女神のように 記念賞の坂田「花笛季」



第2回伊藤藤廉記念賞展

坂田哲也の「花笛季」(油
彩116・7×116・7)

永津慎三「UTAKIIS
himajiri」、有賀
正季「危険な関係」が賞候補
となった。

坂田は福岡県出身、東京芸
科大学博士課程在籍、三十
三歳。

これまで人物、風景、布、
静物を描いており、83東京セ
ントラル美術館油絵大賞展に
出品した「由来花」で大賞を
とった。「花笛季」は、鮮や
かな緑と深紅の背景の空間に
浮かぶ女の半身像。花と髪さ
の冠、緑のガウンに羽毛のケ
ープをまとい、胎内に卵、口

に花のツボミをふくむ。創造
の女神のようであり、春を演
出する季節そのものの擬人化
を思わす。坂田は「麗」をつ
くることが楽しいという。絵の
語性と題名の言霊の交感が、
一つの雰囲気をつくっている

賞候補となった
賞候補となった
賞候補となった

賞候補となった
賞候補となった
賞候補となった

賞候補となった
賞候補となった
賞候補となった

第2回伊藤藤廉記念賞展が名
古屋日動画廊(錦二の二)で
開かれている。
東京芸大名譽教授、愛知県
立芸大客員教授など、美術教
育に情熱を注いだ伊藤藤廉の
顕彰と新人発掘を眼目に、第
二回は応募百九十四点の
中から六十一点が入選した
が、昨年より総体としてレベ
ルも高まった。第2回記念賞



賞候補となった
賞候補となった
賞候補となった